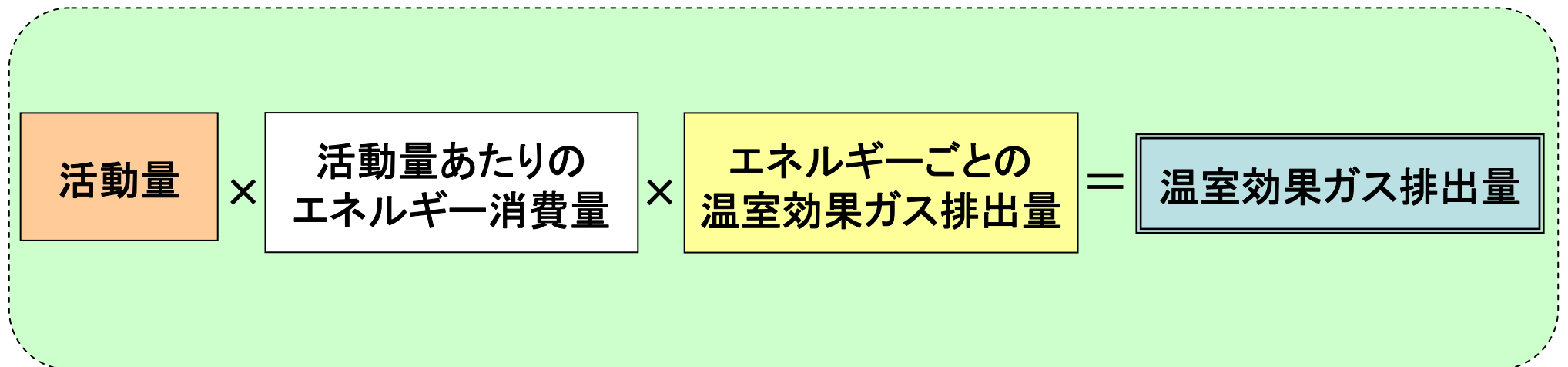


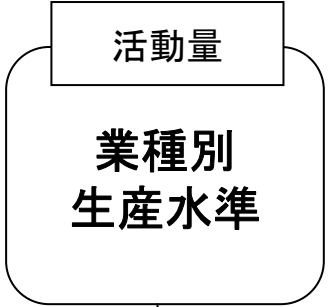
# 温室効果ガス排出量の推計方法の概略

＜エネルギー起源CO2排出量の算定式＞

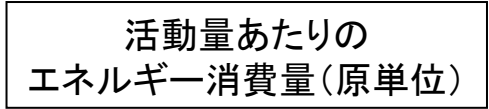


# 産業部門

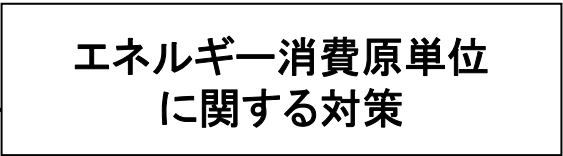
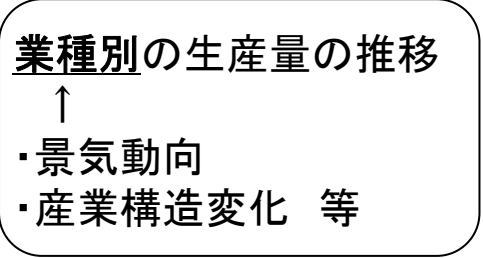
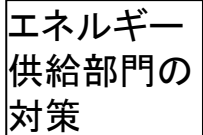
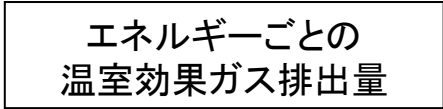
生産量の変化に伴うエネルギー消費量の減少等により、  
温室効果ガスの排出が抑制される。



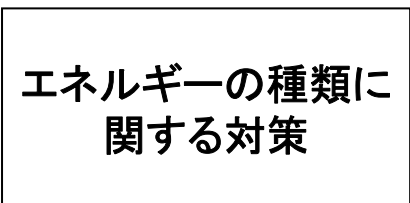
×



×



- ・高性能工業炉の導入促進
- ・高性能ボイラーの普及
- ・次世代コークス炉の導入促進
- ・日本経団連自主行動計画の着実な実施とフォローアップ
- ・熱と電気を一体としたエネルギー管理の徹底
- ・複数事業者の連携による省エネルギー



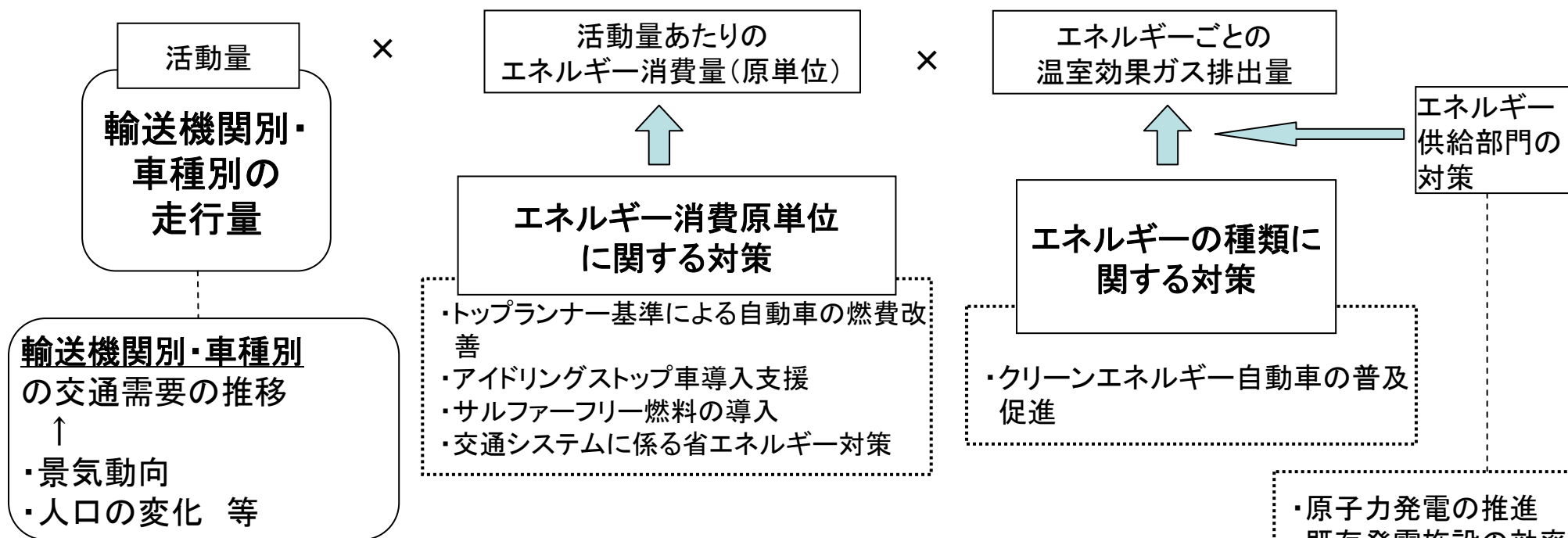
- ・コジェネレーション・燃料電池の導入促進等

- ・原子力発電の推進
- ・既存発電施設の効率向上(燃料転換等)
- ・新エネルギー対策の推進

- ・エネルギー多消費産業:生産量
- ・その他の製造業:鉱工業生産指数

# 運輸部門

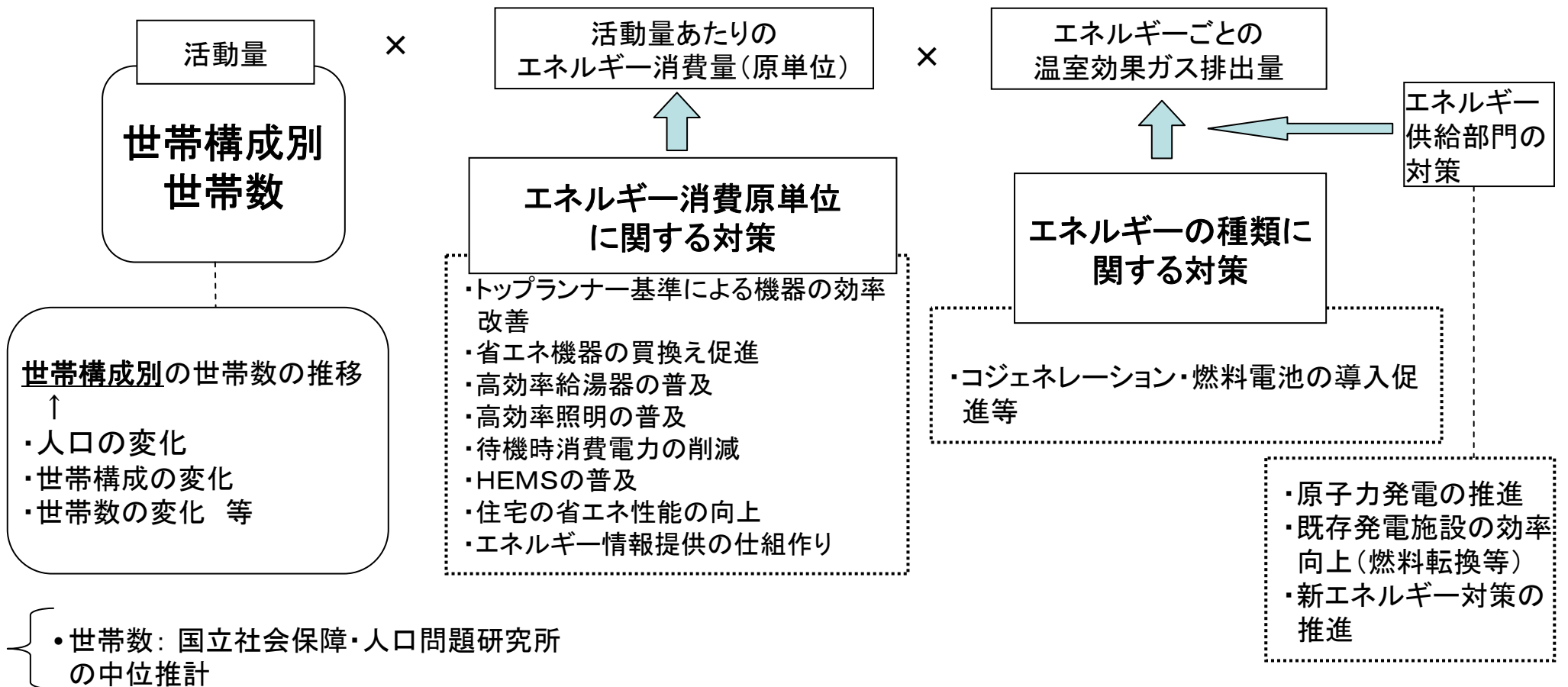
自動車燃費の改善等によりエネルギー消費量の伸びが抑制される一方、乗用車の交通需要の伸び等により、温室効果ガスの排出量が増加。



- ・自動車:「将来交通量予測のあり方に関する検討委員会」(国土交通省道路局)の推計値
- ・鉄道、船舶、航空:過去の実績などを基に推計

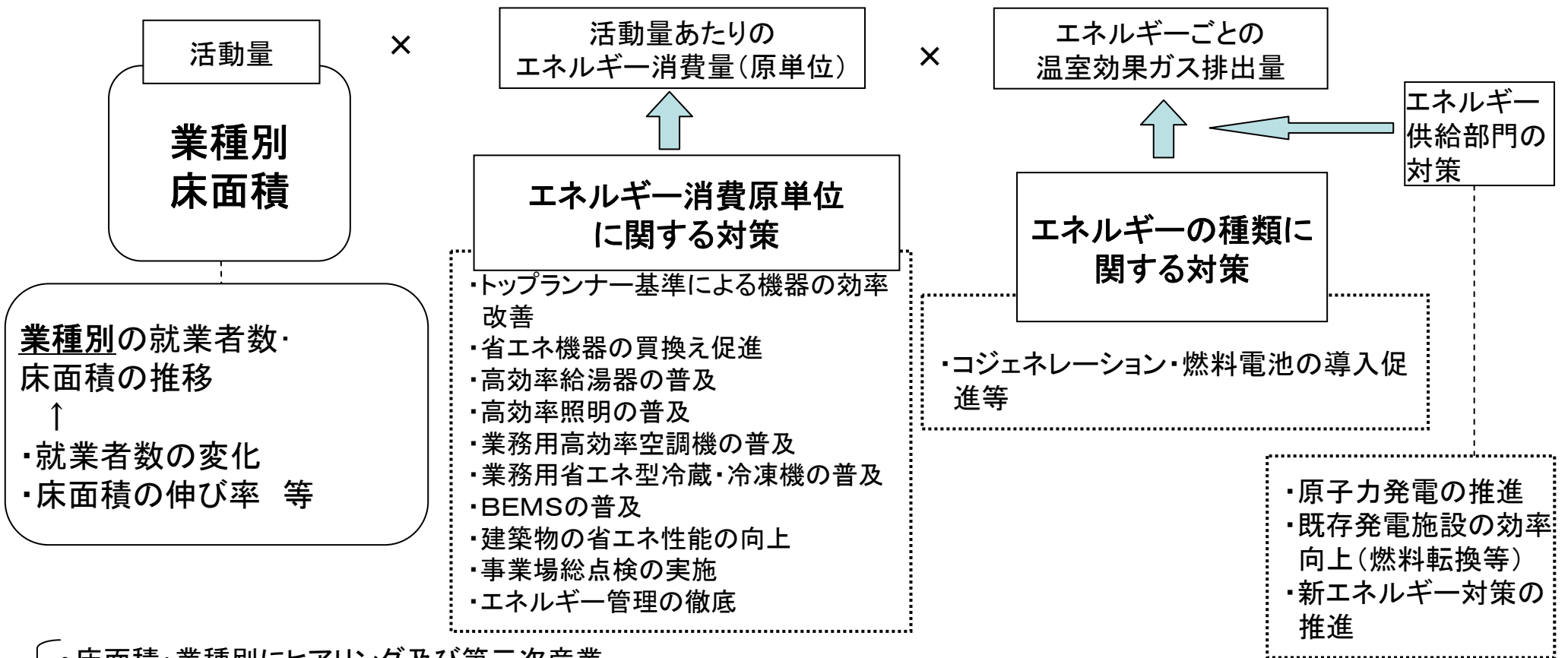
# 家庭部門

機器の効率の改善等によりエネルギー消費量の伸びが抑制される一方、世帯数の増加等に伴いエネルギー需要が増加し、温室効果ガスの排出量が増加。



# 業務その他部門

機器の効率の改善等によりエネルギー消費量の伸びが抑制される一方、床面積の増加等に伴いエネルギー需要が増加し、温室効果ガスの排出量が増加。



・床面積:業種別にヒアリング及び第三次産業就業者数、高齢者比率などを説明変数として回帰推計を行った値

＜エネルギー起源CO2以外の温室効果ガス排出量の算定式＞

活動量

×

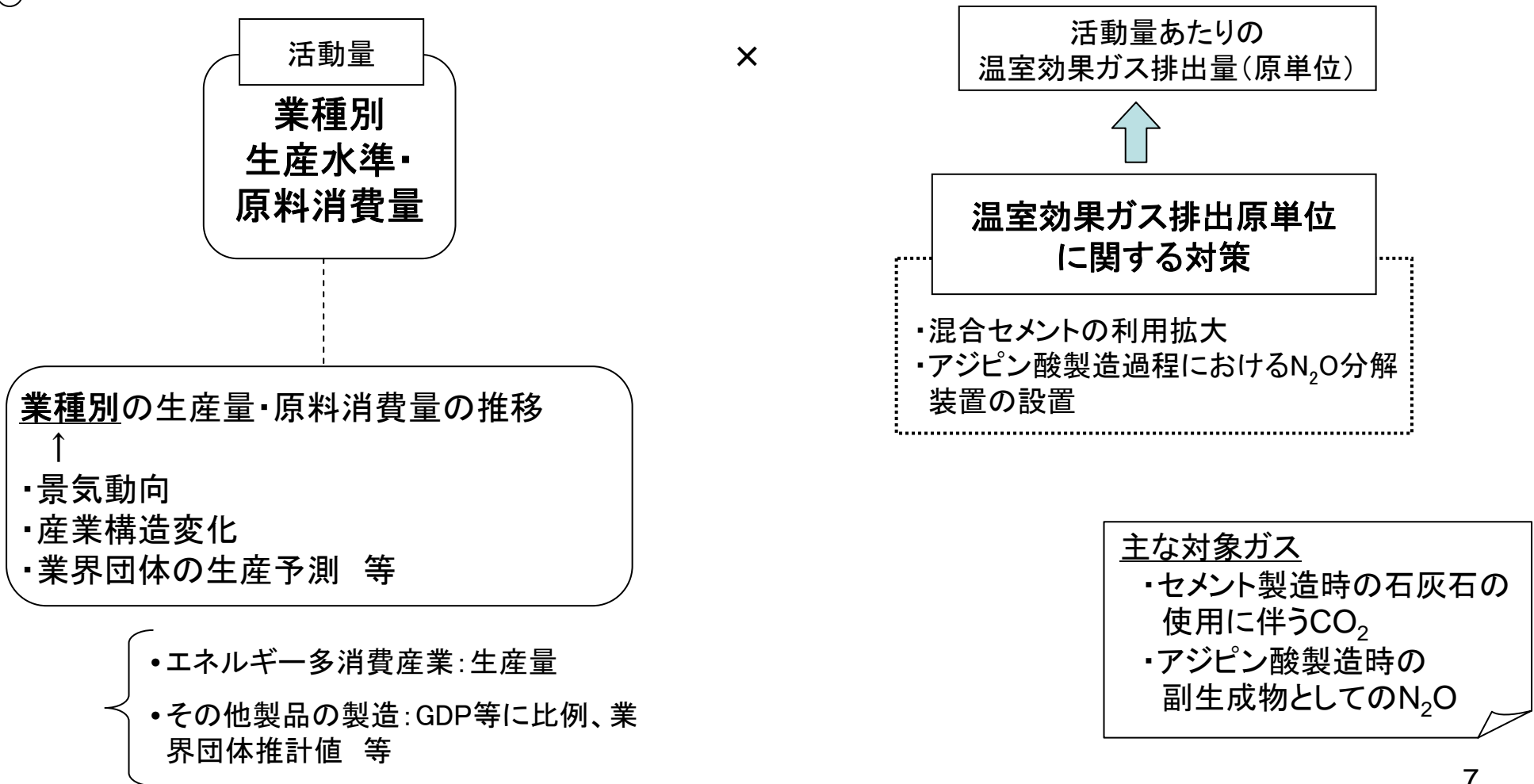
活動量あたりの  
温室効果ガス排出量

=

温室効果ガス排出量

# 工業プロセス部門

生産量・原料消費量の減少等により、  
温室効果ガスの排出量が減少。



# 農業部門

生産量等の減少により、  
温室効果ガスの排出量が減少。

活動量

×

活動量あたりの  
温室効果ガス排出量(原単位)

品目別  
生産水準等

温室効果ガス排出原単位  
に関する対策

品目別の生産量・家畜頭数・  
水田面積・肥料施用量の推移

↑

- ・景気動向
- ・産業構造変化 等

## 主な対象ガス

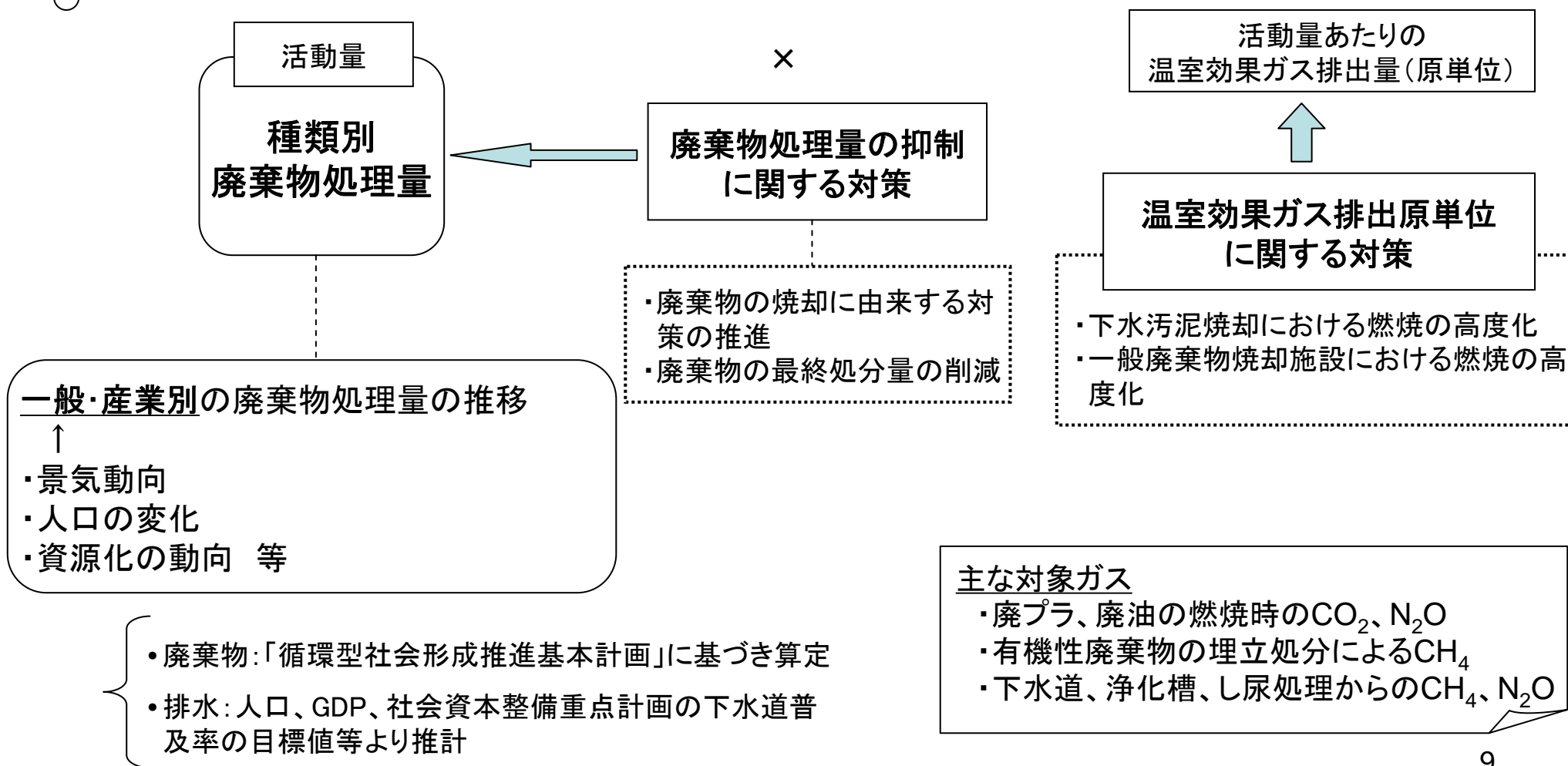
- ・家畜の消化管内発酵(いわゆるゲップ)に伴う $\text{CH}_4$
- ・水田内の発酵による $\text{CH}_4$
- ・家畜排せつ物の処理に伴う $\text{CH}_4$ 、 $\text{N}_2\text{O}$
- ・肥料の施用時の $\text{N}_2\text{O}$

・「食料・農業・農村基本計画」の  
数値目標に基づき算定



# 廃棄物部門

再資源化の促進や廃棄物の高度処理等により、  
温室効果ガスの排出量が減少。



# 代替フロン等3ガス部門

冷媒の回収等により排出原単位が改善される一方、生産量・使用量の増加に伴い温室効果ガスの排出量が増加。

